

GRASS ROOTSの冒険者たち

～ 深めよう! たどり着いた未来に向かって ～

その34 (R04.10.17)

～ 目標設定の必要性 ～

2回目の「夢叶える冒険者」が始まりました。小学生にとって、夢を描き、その実現に向けて、具体的な計画を立てることは、とても難しい作業であると思います。

しかし、今回がうまくいかないとしても、夢を描き、その実現に向けて、計画し、実行した経験こそが大切です。

生活する上で楽な方を選んでしまうこともあるでしょう。私もその1人かもしれません。だからこそ、その弱さに負けないために、「目標設定」が必要になってくるのだと私は思います。ゴールに到着するまでの目標設定を明確にすることで、目標を達成できるのです。

『確実にできる目標』、『明確な目標』、『感覚的な目標』と3つに分けて考えてみます。

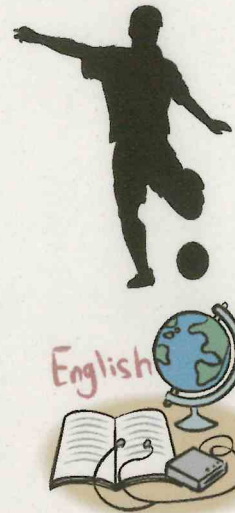
1つめは、『確実にできる目標』は行動量です。「今日はドリルを5ページ進めよう。」や「3000歩、歩こう。」など、自分の努力だけで確実に達成できる数字です。結果に保証はないけれど、小さな達成を繰り返すことで少しの自信が生まれ、大きな達成に近づくことができます。

2つは、『明確な目標』は「〇〇大会で1位になろう。」や「今年は、資格を2つ取ろう。」などです。どれだけやっても100%達成の保証はない目標です。でもこの明確な目標があるからこそ、日々の努力が生まれるのです。

3つめは、『感覚的な目標』は「優しくしよう。」や「積極的に生活しよう。」など、基準がなかなか見えない曖昧なものです。この場合は、「優しくするにはどうしたらよいか。」といつも自問自答しながら、日々、気付いたことを実行することで、確実に小さな変化を起こせるのです。

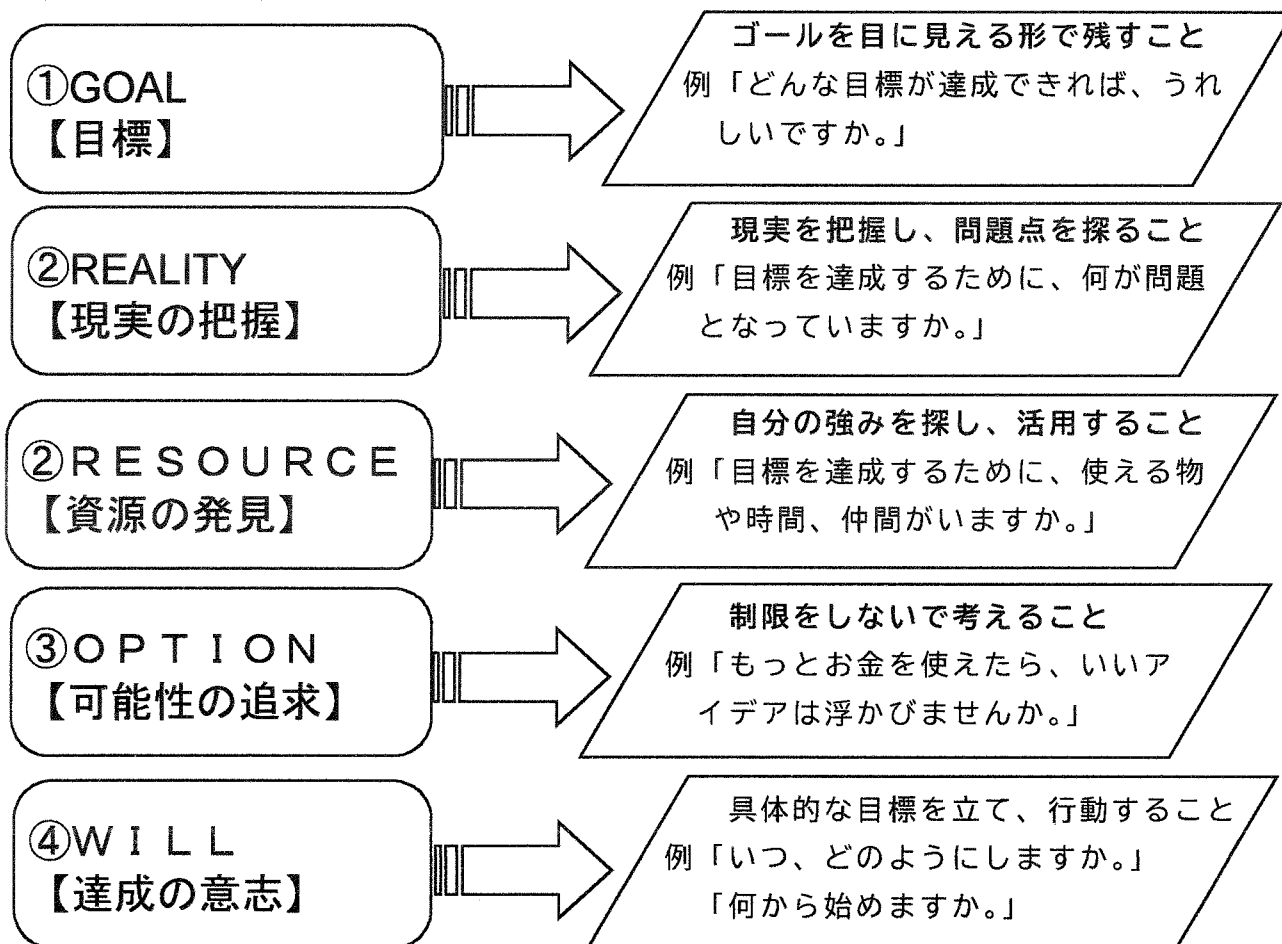
いずれにしても、そこにある目標がある限り、いつまで、どのようにして、どれくらいという指標が必要になり、それがあからこそ、「今日、何をすべきか。」が見えてくるのです。達成できたかどうかよりも、目標があるおかげで、自分の日々の生き方を見直すことができるのです。

目標設定とは、弱い自分を捨てて、幸せになりたいという欲求に少しでも近づけてくれる必要不可欠なものです。目標を立てて、努力する芝根小の一員でありたいです。



～ ゴールから設定するセルフコーチング ～

ここで紹介するのは、「GROWモデル」という目標達成のための方法です。「GROW」は、次の頭文字をとったものです。



～ 指定学校変更について ～

玉村町教育委員会からのお知らせです。

就学すべき学校については、住所によって玉村町教育委員会が指定します。ただし、下記の場合は、指定学校の変更を認める場合があります。

該当する方は、教育委員会にご相談ください。

- 1 住宅の新築や購入により、転居前にその住宅の所在する学校への入学を希望する場合
- 2 学期の途中の転居の場合（学期が終了するまで）
- 3 最終学年に在籍している児童生徒が指定学校区外へ転居した場合
- 4 保護者が共働きで、帰宅後保護することが不可能な場合
- 5 身体障害等により指定学校への通学が困難な場合
- 6 いじめ、不登校により学校生活に著しく支障をきたしている場合
- 7 入学予定の指定中学校に、希望する部活動がない場合（競技実績がある者に限る）
- 8 教育的配慮から教育委員会が認めた場合